

平成28年度・新たな取り組みへ向けて



今年も芍薬の新芽が出始めました。

平成28年度定期総会
本町公民館で4月29日開催

大日堂の保存修復を
目指し、秦野みのげ文
化の会が二十一年八月
に設立してから六年を
迎えようとしています。
その間大日堂の特別
公開への運営協力や境
内の整備清掃を継続的
に実施してきましたが、
それに加えて、文化庁
より地域活性化事業の
一環として報告書の作
成、閻魔大王フォーラ
ムの開催、仏師明珍先
生をお招きしての勉強
会、また明珍先生の工
房を訪れ、修復につい
ての現場を案内してい
ただくなどの事業も進
めてまいりました。

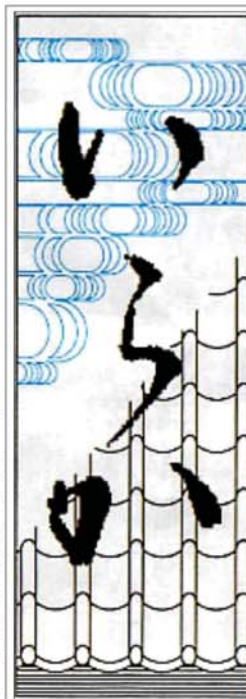
しかし、会員の高齢

化や資金の不足などの壁に阻まれ、一進一退の状況のなかでの活動となつています。一昨年より老朽化した大日堂をはじめ仁王門、不動堂、十王堂の再建に向けて一歩づつでも歩んで行こうと始めた修復基金をはじめ、閻魔詣、芍薬の里づくり、大日堂のすす払い、初詣開催など一人でも多くの皆様に大日堂へ足を運んでいたけるよう事業の取り組みをはじめています。

ですが、これらの事業はまだ歩み始めたばかりです。多くの方々に関心をもっていただけに、保存修復への理解を得られるまでにはまだまだ時間がかかることでしょう。そのためにも二十八年度は人材を増やし新たな取り組みに向けた活動が出来ますよう会員の皆様にもご支援をいただきましたと思います。

田代茂洋

田代茂洋



-平成28年4月号-

—編集・発行—

奉野みのげ文化の会

広報啓発部会

編集室/秦野市今川町6-18

-TEL/0463-85-5060-

[No. 7]

基調講演：内藤浩之氏を予定

(鎌倉国宝館副館長)

♪大日堂の仏像と鎌倉のゆかり♪

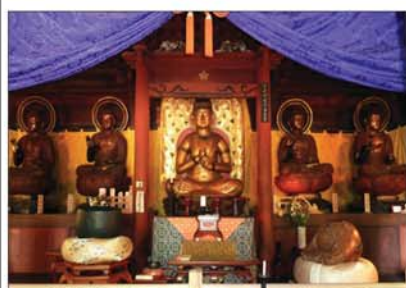
日時：平成28年4月29日(祭)15:00～16:45

場所：秦野市本町公民館 大会議室（入場無料）

今年の四月二十九日の総会には、鎌倉国宝館副館長で学芸員の内藤浩之氏による基調講演を予定しています。

内藤氏は鎌倉市の鎌倉国宝館文化財課を経て、平成二十六年より鎌倉国宝館副館長に就任されました。また鶴見大学非常勤講師としても教鞭をとっております。

専門は彫刻史で、今回は大日堂のベースとなっている大日如来を含む五智如来について、鎌倉とは昔から深いつながりを持つ宝蓮寺と



五智如来（大日堂）

の關係なども含め、いつもとは違った視点で「大日堂の仏像と鎌倉のゆかり」をテーマに話をいただく予定をしております。

田代茂洋

昨年、七体目を修復して下さった浅沼登久子様が他界されました。その人柄と徳の高い生きざまに感銘を受け、多くの事を学びました。そして現在八体目の修復をしていきます。寄付者が見つかり、修復をお願いする時、明珍先生は「尊い志です」と仰います。

大日堂は長い歴史の中で、修復を繰り返しています。現在の姿を保つています。中でも江戸時代享保年間の飢饉の際、木僧の光西上人が浄財を集めて行脚し修復を



果たした事は有名です。記憶にあるものでは、先々が昭和四十七年、市内外の有識者を集め、「大日堂保存会」を發

一歩ずつ前に

|| 十王像八体めの修復 ||

足し御開帳を計画、東京の寺院の協力でラジ
オ放送なども試みてい
ます。また先代は「秦
野歴史おこしの会」を
山田会長とともに立ち
上げ諸堂の補修、境内
整備、文化財指定活動
等、意欲的に行いまし
た。そして「秦野みの
た文化の会」の皆さん
との現在の活動に至つ
ています。

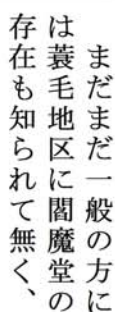
大きな形となつて表
れていなくとも、今精
一杯の積み重ねにより、
文化財は護られ、心は
引き継がれてゆきます。
一人一人の一步によつ
て。これこそ本当に大
切な宝物ではないでし
うか。

東島礼美

十一月の特別公開は **大日堂** 年々盛んに！

『閻魔詣』

方々のお陰で、年々盛
んになりまして、昨年
もお茶会（三席）で写
経、茶店（甘酒・おで
も等）、パザール、出
など、いろいろ工夫を
いまして、おられます
方も



閻魔堂へ向かう道中にも提灯が並んだ

元旦の昨年から始まった、
 昨年も好評だったの、
 今年も公開する事にし
 ました。きりつとした
 寒さの中で迎えた元旦
 の一般公開となりまし
 た。

天気があまり良くな
 い中、近所の方々は
 いじめ、遠くは藤沢や横
 浜からも、わざわざ車
 を飛ばして参拝に来ら

藤沢や横浜からも
元旦の大日堂に参拝

年々数を増しており、とても嬉しいことです。この秦野蓑毛の素臍らしい美術品のお宝を、多くの人に知っていただき、未来につなげてほしいと願っております。

武藤祥子

武藤祥子

会員の皆さんには是非とも知人・友人の方をお誘いされて、閻魔様を参拝されてはどうでしょうか。当日はお子様向けの紙芝居や露店もあります。今年も午後二十時まで公開していますので、閻魔提灯のご協力のお願いとたくさんの方ご来場をお待ちしております。

山口友幸

用意に参拝に來られた皆さ
 んは、温かな甘酒を
 まで振舞わせた。今年も無料
 いした。甘酒を飲んだき
 皆様といろいろとお話
 しをさせていたとき、
 こちからも楽しいひと時
 を過ごさせていた。ありが
 事が出来ました。あり
 がとうございました。

小野文男

小野文男



無料の甘酒で冷えた体を温めてもらう

=大日堂に想いを寄せて=

特に大日堂に関しては、修復に急を要する仏像・建造物がいろいろとございます。修復の事業を早急に起こしたいものです。心ある市民の人達に働きかけて、ご理解いただき、一人でも多くの方の結集を、是非図ってゆきたいものと思っています。

募金のお願い

【口座番号】 8346890

戸隠に研修旅行

今回特別に拝観が可能に

善光寺にて

今回の研修旅行の目的は、一般の会員との親睦と会への希望を聞くことでした。

会員の宮川氏が案内

戸隠神社との縁は、宝蓮寺本堂改築の時、設計士として宮川氏にお世話になってからで、今では矢本八幡宮を継がれ、当日は自らお払いをして下さいました。戸隠神社の歴史は、神代の昔天の岩戸が飛来して出来た戸隠山を中心に開かれ、戸隠修験の霊場であり顕光



寺として栄えていたが、明治の神仏分離によって僧は還俗して神官となり、戸隠神社となりました。戸隠神社の歴史は大山蓑毛のそれと重なります。

宮川氏のご案内で、短時間で戸隠を堪能できる充実した研修会となりました。戸隠では杉並木も風も蕎麦もみんな輝いて、神様を感じるようでした。あまりにも当たり前で、今、目の前の神を感じずに過ごしていたことを反省しつつ蓑毛に帰ってみると、やっぱり蓑毛も輝いていました。

矢本八幡宮の前で



東島礼美

すす払い恒例に

こころも清める年末行事

年末になると各地で行われる『すす払い』と同様に、大日堂とこの境内にある多くの県・市の指定文化財に、この一年間溜まったすすやホコリを払ってきれいにしようと、去る十二月二十六日に『すす払い大掃除』を今年も実施しました。

今回は始めるに先だって、日頃ここを管理されている宝蓮寺住職より



すす払いの前に『お祓い』を受ける

『お祓い』を受け、気持ちも引き締めつつ、また

大切な貴重な仏像等への注意・指導も受けながら約2時間、床の拭き掃除まで行い、きれいにすることが出来ました。

また、会員関係者の子供さん二名の可愛いお手伝いもいただき、十七名の参加で充足した時を過ぎす事が出来ました。

今回も最後に宝蓮寺より温かくおいしい『けんちん汁』などもご馳走になり、散会となりました。お疲れさまでした。

船山三夫

大日堂に新名所づくり

忠魂碑移設で芍薬の里に

忠魂碑等移設整備事業（平和祈念公園整備）に伴い、平沢の市立きたなかはら公園に碑を移設しましたが、その跡地の斜面地に芍薬の植栽整備を行ないました。

今までの植栽活動でお世話になりました寒川の大谷芍薬園様に、苗木を譲っていただき、十一月に地ならし、植

栽の作業を二日に分け実施。「湘南」「谷乃誉」「大谷紅」など七種の苗を植えました。重量級の石碑が建っていた跡地ですので地ならしの際はこれでもかと出てくる石塊やコンクリート塊に悩まされましたが、環境整備部会、仏像建物修復部会の力自慢(?)のメンバーを中心に、無事



忠魂碑あとに芍薬を植栽しました

作業を終了。三月上旬には、少しづつ芽吹いてまいりました。開花が楽しみです。

矢野高

編集後記

昨年急遽『いらか』

の編集をしてから、早くも一年がたち、前回に続き『いらか』の編集に携わる事になりました。

何も分らないまま始めた、この秦野みのげ文化の会の活動ですが、その大日堂を保存・修復していくこうとされている先輩の後ろ姿をみてみると、日々の活動にも大変なご苦労をされているのだなあと、感心させられ、そしてその後をついて行かなければいけない、思いを新たにしました。

相原英二

ご案内

☆秦野みのげ文化の会 ホームページ

--> <http://www.minoge-bunka.org>

--> 検索サイトから

「秦野みのげ文化の会」で検索

☆お問い合わせ メールアドレス

--> info@minoge-bunka.org

☆お問い合わせ 電話番号

--> 0463(81)0311



環境整備部会

清掃活動継続で境内充実

芍薬の植付けを追加

環境整備部会の活動は、毎月第一日曜日（九時～十二時）に大日堂周辺の清掃・整備・樹木の選定などを行っています。

ここには、平安時代からの五智如来像を初めてする多くの歴史的にも貴重な文化財が沢山あります。

この場所で四季を通して咲く花や樹木の手入れなどの作業を続けて、八月十六日の『閻魔詣』や十一月秋の文化財公開時に訪れる沢山の方々だけ



芍薬を植える場所を
みんなで整備する

でなく、大山登山などハイキングの帰途に立ち寄っていたいただいた時、少しでもつろいでいただいていたってもらえるよう活動をしています。

平成二十七年に芍薬の植付けを追加し今迄とはまた違った少し華やかな雰囲気になりそうです。

これからもう一緒に活動していただける方の応援も、お願いしながら交流を続けていきます。

環境整備部会長
船山三夫



大日堂特別公開で
運営スタッフと

仏像建物修復部会

フリマで修復費用の一部に

修復の為に多くの費用が必要

仏像建物修復部会では大日堂と、その周辺の整備の為に、各種構想を持つてはもの現実に問題として、実現には多くの費用を要し、少しでもその構想を「形に」するために一歩ずつ進んで行きたいと思っています。

まずはその浄財の確保の一環として、夏の「閻魔詣」にて苗木と雑貨の販売、と秋の「文化財特別公開」におきまして、フリーマーケットを開くこととしました。

幸い部会の方や、他部会の方、ばあば工房様



フリーマーケットを
開いて修復費用に

のご協力を得て、商材が集まりました。

さて、商材はそろったもののいざ販売となるとなかなか難しいもの。私自身、対面販売は学生時代コンビニバイトの経験はあるものの改めて勉強になる点が多かったと思います。

部会の皆様、商材を提供いただきました皆様、当日ご指導いただきました皆様にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

仏像建物修復部会長
矢野 高



「閻魔詣」では、
苗木と雑貨を販売

広報啓発部会

インターネットを利用したこれからの広報活動

新しい情報発信を活用

広報啓発部会を、昨年度、引き継いだのですが、どのような方向で広報活動をするべきか、右往左往しているうちに一年が経過してしまいました。そこで役員メンバーが集まり、これからの一年間、「この養毛地区、大日堂の歴史文化をどのような方法で皆様に伝達をしていったら良いか」を検討し、また、大きな行事である『閻魔詣』・『特別公開』などにお見えになった方々からのご意見等も参考にさせていただいた結果、今後は、今までの活動にプラスして、現在の情報社会に適応したインターネットを利用した発信を続けてし



大日堂境内で猫と遊ぶ（特別公開にて）

て行く事が、広報啓発部の大事な活動に繋がるとの結論に達しました。幸いな事にすでに当会には、ホームページがあります。しかしこれも、これまでは十分に活用されているとは言えませんでした。そこで、それいかん効果的に活用するかの検討をして、新しい形の情報発信をしていこうと思います。

なので、これから少しずつ新しい情報を掲載して行き、歴史・文化・観光などの財産を一人でも多くの人に知っていただき、未来に伝えていきたいと思っています。

広報啓発部会長
小野文男